



第374号

2020年(令和2年)3月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 高田 厚照
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

組織部 北地区からのお知らせ

多職種
公開講座

第11回 北地区地域オープンセミナー

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

日本では、2人に1人が一生のうちに「がん」になるといわれています。また、がん罹患者の約3割は「働く世代」(生産年齢=15~64歳)とされています。医学の進歩で回復の可能性が高い病気になりつつありますが、今なお「がん=不治の病」というイメージは根強く、がんと診断されたら身体的苦痛のみならず、精神面においても様々な苦痛に直面することになります。

緩和ケアとは、がんによって生じる身体的、精神的痛みを和らげ、患者や家族のQOLを維持・向上しようという考え方です。臨床検査技師が直接関わることの少ない分野ですが、「明日は我が身」と考え、緩和ケアについていっしょに学んでみませんか。多数の方のご参加をお待ちしております。

Theme 「緩和ケアについて学ぶ」

～明日は我が身、緩和ケアを正しく理解しよう～

14:50 災害時連絡網について

15:00 「緩和ケアとは」～緩和ケアの基礎～

講師: 市立吹田市民病院 看護局

緩和ケア認定看護師 松本 伸子

15:30 「ホスピスとは」～緩和ケアとの違い～

講師: よどきり医療と介護のまちづくり株式会社

緩和ケア認定看護師 前田 陽子

16:00 「がん患者以外の緩和ケアについて」

～心不全の緩和ケア～

講師: 大阪大学医学部附属病院 ハートセンター

慢性心不全看護認定看護師 清原 奈緒

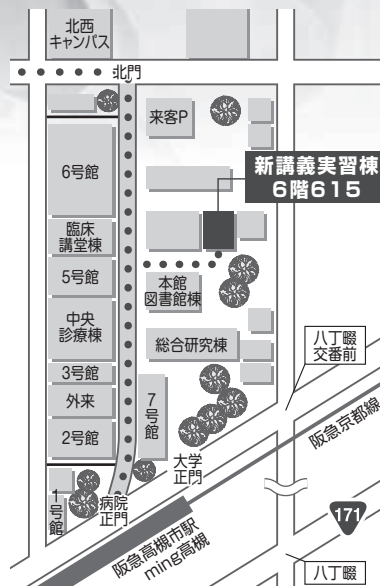
16:30 「がん患者さんと臨床検査技師の接し方」

～院内がんサロンでの経験から～

講師: 宇治徳洲会病院 検査科 江口 光徳

17:00 閉会の挨拶

17:10 終了



会場

大阪医科大学 新講義実習棟6階615
高槻市大学町2-7、阪急高槻駅徒歩3分、
またはJR高槻駅徒歩10分

日時

2020年3月28日(土) 14:50~17:00
(受付14:30~)

参加費

500円(一律)

連絡先

北地区責任者 市立吹田市民病院 臨床検査部
松本 典久
E-mail: On4m.On8m@gmail.com
TEL: 06-6387-3311(内線3210)

重 要 な
お 知 ら せ

2020年度
会員証について

大臨技からの会員証は、ハガキ形式で会員個人宛にお送りしておりましたが、2020年度よりカード形式で発行し、自宅会員の方には大臨技ニュースと一緒に送付させていただくこととなりました。

施設会員の方には、施設連絡者の方へまとめて送付させていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

大臨技 実務統計講座

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

大臨技 精度管理部門では、令和2年度も精度管理、試薬性能・測定法評価に必要な統計講座を開催します。前年度までは、「統計検定2級」取得も視野に入れた内容としていましたが、今年度は検査業務や学会発表・論文作成に軸足を置いた、より実践的な内容を企画しました。

「統計検定2級」試験の対策については、9月以降に本講座とは独立した3回程度のセミナーを予定しています。以下に統計講座の内容、開催日等を示します。

第1回 4月 4日 基本統計量、正規分布の性質

第2回 4月 18日 5数要約と箱ヒゲ図、判別特性

第3回 5月 9日 回帰と相関

第4回 5月 30日 多変量回帰分析

第5回 6月 20日 統計的仮説検定①(パラメトリック検定)

第6回 6月 27日 統計的仮説検定②(ノンパラメトリック検定)

第7回 7月 11日 カイ2乗検定

会場 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
(大阪府医師協同組合東館4階)

いずれも土曜日/16:00~18:00

参加費

大臨技 会員:7回一括5,000円

大臨技 非会員:7回一括10,000円

上記参加費にはテキスト、資料代が含まれます。
ただし、前年度までの「大臨技 統計セミナー」を受講した方は参加費を4,000円とさせていただきます。

連絡先

天理医療大学 医療学部 山西 八郎

E-mail: yamaha@tenriyoro-u.ac.jp

募集期間 2020年3月1日(日)~15日(日)

参加対象 大臨技会員または日臨技会員

募集人数 30名

(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

応募される方は、①氏名(フリガナ) ②日臨技あるいは大臨技会員番号 ③所属施設名 ④Eメールアドレスを明記のうえ、上記連絡先までメールでお申し込みください。

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

輸血検査部門 輸血セミナー2020

開催中止になりました

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今回の輸血セミナーでは、緊急輸血に関する講演2題、アルブミン製剤や血漿交換療法や細胞治療など幅広い内容で構成しました。また、輸血の精度管理についてのアンケート結果についての講演が、自施設の輸血検査が安全に行われているか業務の再確認のきっかけになれば幸いです。ぜひご参加ください。

10:00~11:00 1「救命救急センターにおける緊急輸血の実践」講師:大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 入澤 太郎

11:00~12:00 2「産科危機的出血への対応 ~1人でも多くの妊産婦を救うために~」講師:大阪大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 柿ヶ野 藍子

12:00~13:00 昼食休憩(昼食は各自でご用意ください)

13:00~13:50 3「輸血検査精度管理調査報告(仮)」講師:オーソクリニカルダイアグスティックス株式会社 イムノヘマトロジー事業部 古杉 光明

13:50~14:30 4「アルブミン製剤に関して」講師:一般社団法人 日本血液製剤機構 関西統括部 エリアプロダクトマネージャー 谷口 昭宣

14:30~14:40 休憩

14:40~15:30 5「血漿交換療法について(仮)」講師:大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 峰松 佑輔

15:30~16:10 6「CAR-T細胞療法の現状」講師:ノバルティスファーマ株式会社 張山 健志

日時 2020年3月1日(日) 10:00~16:30
(受付9:30~)

会場 大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科講堂

参加費

会員3,000円 非会員5,000円

連絡先

大阪府済生会中津病院 検査技術部 深田 恵利奈

E-mail: yuketsu_osaka@yahoo.co.jp

府民公開講座

2019年度 大放技・大臨技合同フォーラムを終えて



去る 1月18日(土)
大阪府医師協同組合本部
8階 大ホールにて、「沈
黙の臓器“膵臓”へのチャ
レンジ ～早期発見・早
期治療～」をメインテー
マに『2019年度 大放技・
大臨技合同フォーラム』

を開催いたしました。

教育講演では、中間 翔太 氏(大放技:大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線科)より「みえる・視える・診える 膵臓」を、稲山 久美子 氏(大臨技:元大阪赤十字病院)より「そこに癌はあるのか? 本当に癌はあるのか?～膵臓腫瘍～」を、診療放射線技師と臨床検査技師それぞれの立場よりご講演いただきました。特別講演では「膵臓の早期発見への取り組みをテーマに、大阪赤十字病院 消化器内科副部長 浅田 全範先生に医師の立場よりとても解りやすくご講演いただきました。

今回は、地域の府民の皆様への広報を一新したため、過去最多のご参加をいただきました。大臨技・大放技会員についても例年同様のご参加をいただき、盛況に終わりました。来年度も引き続き多くの皆様にご参加いただけるように企画をすすめてまいりたいと思います。



令和2年 新年互礼会の参加人数報告



開催日 令和2年1月12日(日) 14:00～16:00

会場 アートホテル大阪ベイタワー 4階
アートグランドボールルーム

参加人数 156 名
(内訳)

衆議院議員・参議院議員	12
行政機関	1
地域医療推進協議会	11
教育施設	5
医療関連団体	2
元会長・元役員	7
一般会員	7
賛助会員	79
各部委員	15
役員・参与	17

ご出席、ご祝電を賜りました皆様には厚くお礼申し上げます。
今後も大阪府臨床検査技師会をよろしく願いいたします。

2019年度ベッドサイド実践講習会を受講して

於：2020年1月25日(土)・26日(日)
住友病院別館

2日に渡り、ベッドサイド実践講習会に参加させていただきました。

座学あり実技ありと、他職種のプロの方々から多くの専門知識を教わることができ、大変意義のある講習会でした。

ベッドサイド機器管理では輸液ポンプやシリンジポンプの仕組みや異常時の対応、患者心理と家族とのコミュニケーションでは安心・信頼を得られる傾聴の大切さ、患者移送技術ではベッドや車椅子への移乗方法、薬理では薬に関する知識などを学びました。

どれも日常業務の中で患者さん対応時に経験することであり、職種に関わらず私達も正しい知識を持って積極的に取り組んでいくことが大事であると、改めて感じました。

時代のニーズに合わせて、臨床検査技師の在り方も変動していくことが必須であり、案ずるより出来ることから変えていき、多様性に対応できる仕組みを構築し、多職種連携でチーム医療に貢献できるよう邁進してまいります。

阪南市民病院 臨床検査室 山崎 良子

当院は整形外科・脳外科に特化した95床のケアミックス病院で、救急受け入れも行っています。私は主に生体機能検査を担当していますが、患者移乗時の介助はどこまで行っているのか？モニタ、ポンプ類のアラーム対応はどうしたらいいのか？といったほぼ毎日遭遇する場面に対処できない自分に小さなストレスを感じながら仕事をしていました。

今回の講習会はその私の悩みに100%応えてくれる内容でした。

ベッドサイド機器管理、患者移乗術、看護師のコミュニケーション術、知っておくべき薬理を2日に分けて学びました。座学での疑問をすぐに少人数制実技で解決できるのがとても良かったです。

今回学んだことを活かすべく今後他職種と話し合い、連携を図っていきたいと思います。ありがとうございます。

佐野記念病院 重村 美奈子



photo:image

報告 大臨技ニュースアンケート調査

- ◆ 目 的 毎月1回発行している紙面ベースの大臨技ニュースについて
その必要性を知るため
- ◆ 調 査 期 間 2019年12月23日～2020年1月20日
- ◆ 回 答 数 866件
(一斉メール配信数3,547件に対し回収率約24%)

ご協力いただきました会員の皆さまにはお礼申し上げます。
詳細な集計結果は大臨技ホームページにて報告いたします。

2020年度4月号より紙面を8ページ構成にて発行いたします。(4・9・1月号は12ページ予定)
案内が簡素化される分はホームページと連携して詳細を掲載していきますので、あわせてご覧ください。

近未来の臨床検査技師たちを よろしくお願いします！

私は大阪府下の一般病院に勤務後、独立行政法人国際協力機構（JICA）のシニアボランティアとしてサモアの臨床検査機能の向上を目的にサモア国立病院の臨床検査室で2年間活動してきました。サモアの臨床検査技師は国家資格がなく、医療・医学に関連する学校で教育を受け、病院の臨床検査室で実務を担当しながら臨床検査に関する技術・知識を学んでいきます。また年に数名ですがニュージーランドや日本などの海外での研修に参加して臨床検査に関する専門的な技術・知識を学べます。したがってサモアの技師は臨床検査の教科書を持っているわけではなく、先輩が研修会に参加した時のテキストや分析機器の取り扱い説明書が、その役割を担っているのが現状です。

採血を例にすれば、サモア国立病院では先輩技師が、後輩技師に向かって採血ってこうしてやるんだよ、と見本を示します。そして患者さんがきたら、「よし、やってみよう」と言われて実務を担当していくことになります。

さて、現在、私が勤務する学校の臨床化学実習では臨床検査学科全教員に手伝ってもらって、学生同士で採血を行います。採血をしている時は「チョー・ヤバ〜い!」、「ゲェ!」、「ウソー!」等の意味の分からない言葉が実習室を飛び交います。実習を主担する者としては、心の中で「一人の採血に何分かかっているんだ（怒）」とイライラしますし、サモアの検査室では、とっても務まらないだろうな〜と思ってしまいます。

でも不思議なんです（本当に!）、そんな学生達ですが臨地実習を終えると、たくましくそして臨床検査技師っぽくなった顔つきで学内に戻ってきます。学生教育を担当するものとしては臨地実習を受け入れてくださっている施設には感謝以外の何ものでもありません。

さてサモア国立病院の臨床検査室には日本で研修を受けた技師が3名おり、彼らは私に、「日本の臨床検査室は素晴らしい、そしてみんな親切に接してくれた。（付け加えて『日本食は美味しかった』）」と言ってくれます。嬉しかった思い出の一つです。私のわずかな海外経験だけというのは問題があるかもしれませんが、日本の臨床検査のレベルは世界のトップクラスだと思っています。ところが各教育機関では、そのハイクラスな学問を3ないし4年で教えて（正直に言うと“詰め込んで”）います。臨地実習を受け入れてくださった施設の方々には、教員は何を教えているんだ!と思っておられるかもしれませんが、なかなか余裕がないというのが正直なところですよ。

どうか大臨技の各施設におかれましては、近未来の臨床検査技師たちを、そしてサモアなどの開発途上国の技師たちが研修生として来た時にはご指導をお願いします。

関西医療大学 臨床検査学科 中島 康仁



サモア人研修生のPereniseさんと

向かって左から東京医療センターで細菌を担当しておられた、樋口技師（現在は国立成育医療研究センター 副技師長）、サモア人研修生のPereniseさん、筆者、渡邊技師長（元 大臨技会員）。

開催行事予告編

詳細は次号に掲載いたします。

事業名/日時・会場	内容	評価点	参加費
多職種公開講座 糖尿病療養指導部会 定例勉強会 2020年4月21日（火） 19:00～20:30 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室	「高齢者糖尿病の療養指導のポイント」 講師：日本生命病院 糖尿病看護認定看護師 角南 ちえ子	基礎-20	500円 （一律）

大臨技理事会報告 Executive board report

2019年度 第11回(令和2年1月9日)開催分

- 2020年度の各部事業予算・事業計画案について審議した。
- 大臨技ニュースに関するアンケート調査の中間報告を行った。
- 豊中市、吹田市の精度管理専門委員の推薦を行った。
- 新年互礼会の最終確認を行った。

大臨技事務局からのお知らせ

■ 2020年度「年会費」納入について

※ 日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみ会員より日臨技にも入会される方は、日臨技ホームページを参照ください。

または、日臨技へお問合せのうえ、ご対応ください。

※ 大臨技のみに入会されている方

大臨技年会費5,000円を下記指定口座のいずれかへお振込みください。通信欄には必ず会員氏名と会員番号を記載してください。

* ゆうちょ銀行（金融機関コード:9900） ・ 記号番号での振込先 … 口座番号:00950-1-1021
・ 店名での振込先 … 店名:〇九九 店番:099 当座口座番号:0001021

* 三菱UFJ銀行（金融機関コード:0005） ・ 支店名:阿倍野橋西 店番:555 普通口座番号:1074815

振込先口座名:公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

* 2020年度大臨技会員証につきまして、自宅会員の方にはニュースと一緒に、施設会員の方には施設連絡責任者宛にまとめて送付させていただくことになりましたので、ご了承ください。

2月29日までに会費を納入されましたら3月末頃に発送いたします。3月1日～3月31日までに納入されましたら4月末頃に発送いたします。

詳細は、大臨技ホームページを参照ください。

※ 自宅および勤務先施設の住所が大阪府外の方（重複会員）

他府県技師会と大臨技の両方に入会する事が必須です。詳細は、当会事務局までお問合わせください。

■ 2019年度大臨技会員証について

*第1回目は4月26日、第2回目は7月19日、第3回目は10月23日に発送いたしました。

*10月以降に会費を納入された方、新・再入会された方には「会員登録証明書」を会員証の代わりとして発行いたします。

■ 下記の内容については大臨技ホームページの「入会・退会・会員／施設情報変更」を参照ください。

- ・ 会員情報の変更について
- ・ 施設情報登録・変更等の申請について
- ・ 会員証の再発行について
- ・ 臨床検査技師免許証番号届出書（臨床検査技師免許申請中の新入会員の方）について
- ・ 退会申請について

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

お知らせ

参加費について

各事業における会員の定義を以下に示します。

1. 日臨技事業（近畿支部研修会も含む）:日臨技会員であること。
2. 大臨技事業:大臨技会員（賛助会員含む）であること。 ※他都道府県会員は非会員扱い
3. 日臨技申請事業:日臨技会員または大臨技会員であること。

また、大臨技事業において以下の特例を認めます。

- 1) 大臨技登録学生(OEMS):1,000円未満の事業は参加費を免除する。
- 2) OEMSで大臨技に新入会した1年目の会員:1000円以下の事業は参加費を免除する。
- 3) 大臨技入会申請中は会員扱いとする。
※会費振込み時の受領証が領収書の提示が必要(日臨技にも入会している方はWEBからの発行が可能)

上記に該当しない場合もしくは会員証忘れは非会員扱いとなりますのでご了承ください。

第4回 大臨技医学検査学会

第4回大臨技医学検査学会は、2月1日～2日にかけて千里ライフサイエンスセンターにて開催されました。

生物試料分析科学会との同時開催ということもあり、他府県からの参加者も多く、予想を上回る来場者数となり、盛会のうちに終えることとなりました。

例年、2月の寒さの厳しい中での開催であり、また今年はインフルエンザや新型コロナウイルスの猛威のなかではありましたが、ご来場いただきました皆様には、感謝申し上げます。

なお、府民公開講座では、各種マスメディアで話題の『N-NOSE』の開発者である広津崇亮先生をお招きし、最新知見を得る機会ということもあり、検査技師のみならず一般府民も多く160名もの参加者を迎えることができました。

今後も、第5回、第6回と、よい企画はさらに良く、新しい企画も加えながら、大阪らしい“大臨技医学検査学会”を開催してまいります。よろしくお願いいたします。

▶総来場者数

大臨技会員	273名
大臨技非会員	296名 (日臨技会員、賛助会員、生物試料会員含む)
学 生	21名
一 般 府 民	78名
そ の 他	9名
合 計	677名



閉会式の様子
(当日スタッフの皆様、お手伝いありがとうございました!)



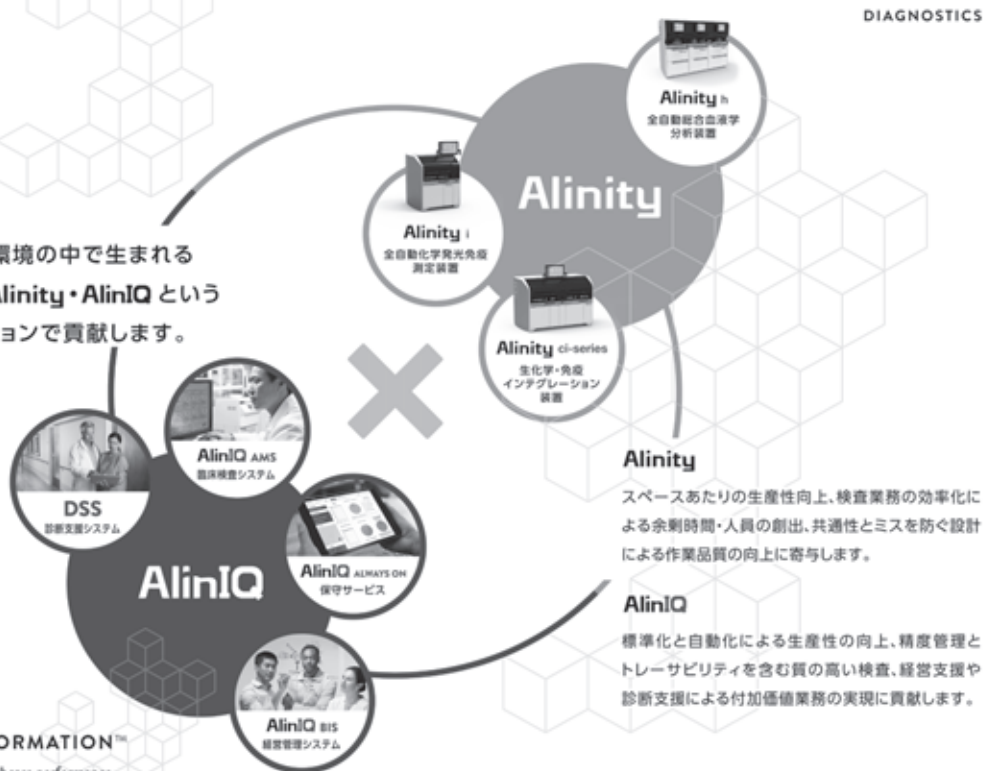
神経伝導速度
実験の様子



府民公開講座の様子



変化し続ける医療環境の中で生まれる
お客様の課題に、Alinity・AlinIQ という
トータルソリューションで貢献します。



CHOOSE TRANSFORMATION™

Achieve measurably better healthcare performance
www.abbott.co.jp

〒108-6305 東京都港区三田3-5-27住友不動産三田ツインビル西館
TEL:03-4555-1000 © Abbott Japan Co., Ltd. 2018

販売名: Alinity i システム 医療機器届出番号: 12B1X000010-00032
Alinity, AlinIQ は Abbott ラボラトリーズが所有する登録商標です。

販売名: Alinity h システム 医療機器届出番号: 12B1X000010-00033

20180306

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

令和2年4月号の原稿メ切は2月29日(土)、令和2年5月号は4月1日(水)です。